

## 福井県公共工事入札監視委員会の開催概要について

このことについて、平成 21 年度福井県公共工事入札監視委員会（第 3 回）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

### 記

- 1 日 時 平成 22 年 1 月 14 日（木） 13:30 ～ 15:30
- 2 場 所 県庁 6 階 大会議室
- 3 出席委員 荒井委員、川崎委員、下中委員、藤井委員（五十音順） ※葉袋委員は欠席

#### 4 議事次第

- (1) 開会
- (2) 議題
  - ・入札および契約に係る制度の運用について
  - ・談合その他の不正行為に関する事項について
  - ・総合評価落札方式の実施状況について
  - ・抽出事案審議
- (3) その他
- (4) 閉会

#### 5 会議概要

- (1) 入札および契約に係る制度の運用について（平成 21 年 7 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）
  - ・契約件数、落札率の状況について説明
  - ・指名停止の運用状況について説明
  - ・低入札価格調査の状況について説明

Q 一般競争入札の平均落札率について、21 年度第 2 四半期（平成 21 年 7 月から 9 月まで）の期間平均はどのような状況であるか。

A 21 年度第 2 四半期は 90.9%。21 年度第 1 四半期が 89.7%、20 年度第 4 四半期が 89.3%と 90%前後で推移している。21 年度第 2 四半期が若干高くなっている理由の一つとして、21 年 7 月以降に最低制限価格の算定式を見直したことが影響したと考えられる。
- (2) 談合その他の不正行為に関する事項について
  - ・期間中の談合情報等は 2 件と報告。

談合の事実があったとは認められなかったもの 1 件、談合の疑いがあると認められたもの 1 件
  - Q 談合の疑いがあると認められたものについて、どのような対応を行ったか。
  - A 談合情報を得て、入札参加業者に対する事情聴取、誓約書の徴収および工事費内訳書の点検を実施した。工事費内訳書の点検の結果、適正な入札の執行が困難と判断し、開札を中止した。
  - Q 開札を中止した工事は再度入札を行ったか。
  - A 開札を中止した工事は 3 件であったが、3 件を 2 件の工事として改めて設計し、また、入札参加業者の対象地域を一部の地域から福井県全域に拡大するなど、入札参加条件を変更して入札を実施した。

(3) 総合評価落札方式の実施状況について

- ・平成20年度から本格的に実施してきた総合評価落札方式の実施状況について説明。
- ・総合評価落札方式の導入は、①技術順位上位のより技術力の高い業者が落札者となり、②工事成績においても総合評価落札方式が全体より高い工事成績を得ており、目的とする品質の確保・向上が図られている。
- ・平成21年3月の評価項目の改正は、①評価項目の追加や配点の見直しにより、技術力評価のバランスが図られ、②地域性・社会性の評価重視により、地元業者の受注増や、県内下請業者の活用、県産品の活用などが図られている。
- ・以上の総合評価落札方式の効果をさらに推進するため、対象工事の拡大や、評価項目の見直しについて今後とも検討する。

Q 総合評価落札方式で県産品を評価するが、県産品とはどのようなものを想定しているか。

A 土木工事の場合、主なものとして生コンクリート、砂利、アスファルト、コンクリートの2次製品である側溝などのブロックがある。

Q 県産品の活用は義務付けをしているのか。

A 県産品を活用するとした場合は、総合評価落札方式において加点評価するとしており、義務付けをしていない。総合評価落札方式において県産品を活用するとした業者が落札した場合は、特約事項として契約書に明記しており、履行されなかった場合はペナルティを課すこととなる。

Q 総合評価落札方式における評価項目の一つに地域性があるが、地域性などを評価することで、県内企業の落札率は増加したか。

A 地元発注率（金額ベース）は、20年度89.3%に対し、21年度（10月末現在）96.7%と上昇している。

(4) 抽出事案審議（事前に荒井委員が抽出）

ア 街路事業（交通連携推進）街路事業（受託）合併工事

Q 民事再生中であっても入札に参加することは可能か。

A 民事再生となると入札参加停止措置をとるが、裁判所から民事再生手続開始決定が出された後に再審査の申出があった場合は、入札参加資格の再審査を行い、資格を付与することができる。

Q 低入札価格調査を行っているが、調査基準価格はどのように決めているか。

A 低入札価格調査制度実施要領に定めた調査基準価格の算定式に基づき設定している。

イ 港湾改修（地方）工事その1工事

Q この工事では、低入札価格調査（調査基準価格および失格基準価格の設定）を行ったか。

A 低入札価格調査は予定価格が2億円を超える工事に係る入札に適用することとしており、この工事は1億円程度であったことから適用していない。

ウ 県営住宅町屋団地26号館外壁等改修工事

Q 入札結果をみると失格が非常に多いが、同様の改修工事でも失格者は多いのか。

A 失格が多い工事もあるし、少ない工事もあり、様々である。

エ 平成21年度経営体育成基盤整備事業（ほ場）第3号工事

Q 総合評価落札方式で評価した技術評価点の評価項目ごとの内訳は公表しているか。

A 技術評価点の合計点数は入札情報サービスシステム（インターネット）で公表している。評価項目ごとの評価点数は、技術上のノウハウ等を含むため、公表していない。

オ かんがい排水事業（一般型・県営）三方地区第1号工事

Q この工事は、総合評価落札方式を適用したが、技術提案は求めたか。

A 技術提案は求めている。総合評価落札方式のうち実績評価型（簡易型）として実施したものであり、技術提案を求める技術提案型（標準型）としては実施していない。